令和6年度　学校だより　第2号

と い で の

校訓「自立･創造･敬愛」

高岡市立戸出東部小学校
令和６年４月16日発行

新 し い 春 に

教　頭

この春の異動で、県教育委員会から戸出東部小学校に着任した宮森です。どうぞよろしくお願いいたします。教育委員会で働く前は中学校に勤務しており、小学校で働くのは初めての経験になります。中学校とは異なる小学校という新しい環境の中で、新しい出会いや出来事に毎日わくわくしていますが、同時に戸惑いや不安があることは否めません。

もしかすると、入学・進級を迎えた子供たちの中にも、私同様、新しい環境で新しい目標に向かって頑張ろうという思いはあるものの「新しい先生や友達とうまくやっていけるかな？」、「勉強が難しくなるのではないかな？」というような不安を抱えているお子さんもいらっしゃるのではないでしょうか。もしそうであれば、今、不安に思っているのはあなた一人だけではないこと、ほんの少し勇気を出して一緒に一歩を踏み出していこう！ということを、ご家庭でもお話していただけたらと思います。少しの勇気をもって踏み出した一歩によって事柄は案外うまくいくかもしれませんし、思うようにいかなかったとしても、困難を乗り越えていく経験の積み重ねによって、人はたくましく成長します。

また、新しい環境に早く慣れ親しむことができたお子さんには、次のことを心に留めてほしいと思っています。あなたの周囲には新しい環境に慣れるまで時間が必要な友達がいるかもしれないこと、もし戸惑っている様子の友達がいたら、ほんの少しの優しさをもって相手にそっと手を差しのべてほしいこと。実際、このようなことをお伝えせずとも、１年生の手を引きながら集団登校をしてくれる優しい上級生の姿や、友達の温かい一言によって励まされ、気持ちを切り替えて活動に取り組むことができる子供の姿が見られ、うれしく思っています。

少しの勇気と優しさによって、新しい環境が互いに安心できる居心地のよい環境になっていくと考えます。

さて、毎朝、列を作り安全に気を付け集団登校してくる子供たち。授業中には担任の問いかけに対して挙手し、自分の考えをしっかりと述べている学びの姿があります。休み時間になると子供たちは生き生きとした表情で校庭へ駆け出していきます。そのような元気でまっすぐな東部っ子と、かけがえのない一人一人の子供を大事にし、情熱をもってテキパキと迅速に動く教職員の皆さんから、私は一歩を踏み出す勇気（パワー）と優しさを沢山もらっていることに感謝しながら、日々の校務に当たっています。

ここに新年度を迎えることができましたのも、皆様のご理解とお力添えのおかげであると深く感謝いたします。今年度も引き続き、変わらぬ温かいご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

〈左：校庭花壇のチューリップの開花 4/8〉
〈右：開花が危ぶまれた我が家のチューリップ 4/13〉